別添・参考

「シーズ技術名：○○〇〇○○〇〇○○○〇〇」

現場試行計画書

令和〇年〇月

株式会社〇〇〇〇〇〇

１．目　　的

　「i-Construction　推進コンソーシアム」（以下「コンソーシアム）という」の規約に基づき、現場において解決したい課題（以下「ニーズ」という）に対して、その課題を解決できる新たな技術（以下「シーズ」という）の募集で選定した技術に対して、設定した評価指標、要求水準、及び試験法に基づく条件下の現場実証を行うための現場実証試験計画書である。

２．現場ニーズとシーズ技術の概要

1. 現場ニーズ

○○での○○作業を○○したいため、○○技術でより○○したい。

1. シーズ技術名

○○○○装置

1. シーズ技術の説明

　　　　〇〇を利用し、○○することで、○○性を向上させることができる。

シーズ技術の写真、図等を貼付

３．現場試行計画

３－１　概　要

「〇〇装置」について、性能評価項目と試験方法に示す評価項目、評価指標、試験方法に基づき現場実証を行う。

３－２　現場試行期間

1. 試行期間：令和〇年〇月〇日（〇曜日）～令和〇年〇月〇日（〇曜日）
2. 試行場所：○○県○○市〇〇町　〇丁目〇〇番〇号

　　　　○○○○出張所

位置図等を添付

1. 試行時間：　○○：○○～○○：○○

３－３　評価項目と試行方法

1. 評価項目に対する試験方法

「マッチング試行調査票　　⑫現場試行前の確認項目」参照

1. 試行方法の手順　　　　　　　　　（例）
2. 経済性
* 単位数量当たりの経費を含めた費用を算出し、従来技術と比較する。
1. 、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、
2. 、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、
3. 工程
* 単位数量当たりにおける、作業工程ごとの時間を測定し、従来技術と比較する。
1. 、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、
2. 、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、
3. 品質
* ○○試験により、従来技術と比較する。
1. 、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、
2. 、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、
3. 安全性
* 試行試験の中で、従来技術と比較する。
1. 、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、
2. 、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、
3. 施工性
* 作業者10人へのヒアリングを実施し、従来技術と比較する。
1. 、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、
2. 、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、
3. 環境
* カタログ値、メーカ試験値をもとに、従来技術と比較する。
1. 、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、
2. 、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、

４．連絡体制（緊急時含む）

以下に、本現場実証試験における連絡体制（緊急時含む）を示す。

＜緊急時連絡先＞

技術応募者（シーズ）

株式会社〇〇〇〇

応募者代表： 〇〇〇〇

・TEL：〇〇〇‐〇〇〇‐〇〇〇〇

・E-mail：〇〇＠〇〇〇〇.co.jp

現場責任者： 〇〇〇〇

・TEL：〇〇〇‐〇〇〇‐〇〇〇〇

（携帯）〇〇〇‐〇〇〇〇‐〇〇〇〇

・E-mail：〇〇＠〇〇〇〇.co.jp

・緊急時・夜間連絡先：上記携帯電話

所轄警察署

〇〇警察署

TEL:〇〇〇‐〇〇〇‐〇〇〇〇

〇〇消防署

TEL:〇〇〇‐〇〇〇‐〇〇〇〇

所轄消防署

救急病院

○○保険病院

TEL:〇〇〇‐〇〇〇‐〇〇〇〇

国土交通省 〇〇地方整備局

〇〇事務所　〇〇出張所

○○　〇〇係長

・TEL： 〇〇〇‐〇〇〇‐〇〇〇〇

・緊急時・夜間連絡先：

（携帯）〇〇〇‐〇〇〇〇‐〇〇〇〇

・E-mail：〇〇＠〇〇〇〇.go.jp

発注者（ニーズ）

：定時連絡

：緊急連絡

労働基準監督署

〇〇労働基準監督署

TEL:〇〇〇‐〇〇〇‐〇〇〇〇